

もっと知ろう「緩和ケア」

川口市立医療センター

緩和ケア科

ひが けんすけ
比嘉 謙介



緩和ケアとは

緩和ケアとは、がんによる身体や心の苦痛を和らげ、その人らしい生活を送れるようにするための医療です。当院では令和5年4月に「緩和ケア科」を開設し、緩和ケアチーム、緩和ケア外来、緩和ケア病棟で連携を取りながら治療を行っています。がんによる苦痛は、身体的なものに限ったことではありません。がんと診断されたときや治療を始めるとき、転移・再発が分かったときなどに気持ちがつらくなることもあります。また、がんの罹患に伴い生活が変化してしまう場合もあります。当院では医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、公認心理師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなどさまざまな職種の職員が連携をとり、がんと診断された時から各種相談や心理的なサポートを行っています。

緩和ケア病棟のご紹介

当院では、令和5年10月に「緩和ケア病棟」を新設しました。これは、症状緩和を主な目的とした急性期型の緩和ケア病棟のため、入院期間は1カ月以内を目安としています。がん治療中ではないかたで、自宅での生活が難しく、緩和ケア病棟への入院を希望する場合は、まずはかかりつけ医にご相談いただき、必要に応じて当院の緩和ケア科を受診してください。

今後も地域の医療機関との連携を通して、日常生活を送りながら安心して治療や療養ができるよう、切れ目のない緩和ケアの提供を目指していきます。